



2020年3月期 第2四半期決算説明会

2019年11月19日

代表取締役社長

實吉 政知

	ページ
1. テクノメディカの歴史	… 2-6
2. 2020年3月期 第2四半期決算	… 7-22
3. トピックス	… 23-26
4. 2020年3月期 業績見通し	… 27-30
5. 2017中期経営計画総括	… 31-35



テクノメディカの歴史

経営資源を研究開発に集中し、オンリーワン製品・サービスを提供

1987年	9月	神奈川県川崎市高津区にて創立
1988年	9月	全自動血液ガス分析装置の販売を開始
1991年	4月	自動採血管準備装置の販売を開始
	6月	かながわサイエンスパークに開発センターを設置
1997年	3月	本社社屋の竣工（横浜市都筑区仲町台）
1998年	6月	本社第2研究所竣工 ⇒ 研究開発部門の充実
2004年	12月	ジャスダック証券取引所へ店頭登録
2005年	9月	本社第3研究所竣工 ⇒ 研究開発部門 + 物流の充実
2007年	3月	東京証券取引所市場第二部に株式を上場
2008年	3月	東京証券取引所市場第一部に指定
2009年	7月	本社第4ビル竣工 ⇒ 生産業務施設の充実
2012年	9月	ヘルスケアセンターを開設 ⇒ ヘルスケア部門の研究開発強化
2019年	7月	テクノメディカ台湾支店の開所
	8月	横浜港北に物流倉庫の開設

採血管準備装置 BC・ROBOシリーズ

採血管準備装置を他社に先駆け1991年に発売
 現在 約2,000施設で稼働、シェア国内約9割

*RFID(Radio Frequency Identification)
 ... ICタグの個別情報を無線通信によって読み書きするシステム



デスクトップ型血液ガス分析装置

GASTAT-1 (1987)



GASTAT-2 (1989)



GASTAT-3 (1992)



GASTAT-5 (1999)



GASTAT-600 series (2002)



GASTAT-1800 series (2010)



GASTAT-700 Model (2016)



※ () 内の数値は上市した年

- 情報（報知）システム
- 診断補助機能

製品名

（検体前処理装置）
採血管準備装置



採血管準備装置
BC-ROBO-8001RFID



卓上型
採血管準備装置
BC-ROBO7

RFID検体情報
統括管理システム
TRIPS



アンテナ
ボックス
採血管
スタンド



全自動尿分取装置
UA-ROBO-2000RFID

検体検査装置



血液ガス分析装置
GASTAT-700モデル



ハンディ型血液ガス分析器
GASTAT-navi



電解質測定器
STAX-5 Inspire

<その他>

赤血球沈降速度測定装置
尿中酸化ストレスマーカー測定システム
等

消耗品等



各種採血管



ラベル



センサーカード



電極



ハリックップ

<その他>

採血管準備装置および
検体検査装置の保守
等



2020年3月期 第2四半期決算

● 決算サマリー：前年同期比で増収。利益率は低下も利益予算はクリア

(単位：百万円)

	2019/3期 2Q累計		2020/3期 2Q累計		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	4,166	100.0%	4,704	100.0%	+12.9%
営業利益	658	15.8%	605	12.9%	△7.9%
経常利益	660	15.9%	607	12.9%	△8.0%
四半期純利益	475	11.4%	493	10.5%	+3.8%
1株当たり純利益(円)	55.5	—	58.1	—	+4.7%
1株当たり純資産(円)	1,530	—	1,609	—	+5.2%

● 品目別売上高（全体）：採血管準備装置が大幅増収

（単位：百万円）

	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2019/3期	2020/3期	
				2Q累計	2Q累計	前期比
採血管準備装置	3,622	3,523	3,803	1,515	1,993	+31.5%
構成比	42.8%	40.7%	40.8%	36.4%	42.4%	—
検体検査装置	534	517	620	322	265	△17.6%
構成比	6.3%	6.0%	6.6%	7.7%	5.6%	—
消耗品等	4,299	4,613	4,908	2,328	2,445	+5.0%
構成比	50.8%	53.3%	52.6%	55.9%	52.0%	—
合計	8,457	8,654	9,332	4,166	4,704	+12.9%

● 決算（前年同期比）のポイント・トピックス

売上高 増加要因

採血管準備装置

⇒ 国内で大型案件等を受注し大幅増収、なお中国減速等で海外は半減
＜ 国内59%増、海外55%減 ＞

検体検査装置

⇒ 血液ガス分析装置が伸び悩み
＜ 国内15%減、海外25%減 ＞

消耗品等

⇒ 装置の累計販売台数増加に伴う消耗品の好調
＜ 国内6%増、海外12%減 ＞

販管費 増加要因

採血管準備装置関連の研究開発費が増加
人件費上昇（全国拠点でサービス体制の強化を実施）

トピックス

小型採血管準備装置を新発売、台湾支店および物流倉庫を開設

大型案件・採血業務支援システム Assist More

採血受付

採血の診察券、受付票の読取データに応じて採血整理券を自動発行

患者呼出
採血情報表示
患者照合
採血カルテ登録

採血カルテ登録



採血後画面タッチで患者情報を入力。採血カルテはピクトグラムを多用し、登録も簡単。患者の詳しい採血情報の共有も可能

採血管準備

BC・ROBO

バーコードラベルを貼り付けた採血管、採血指示書、手貼ラベル、コメントラベルをトレイにまとめて自動発行

オールインワン

採血管

採血指示書

手貼りラベル

コメントラベル



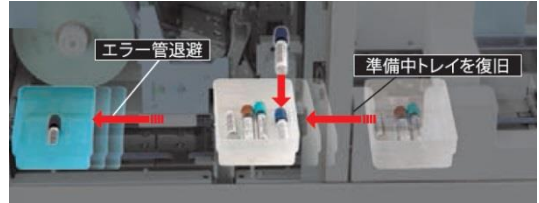
● 主力製品 BC・ROBO-8001 RFID について

自動採血管準備装置
BC・ROBO
8001
RFID

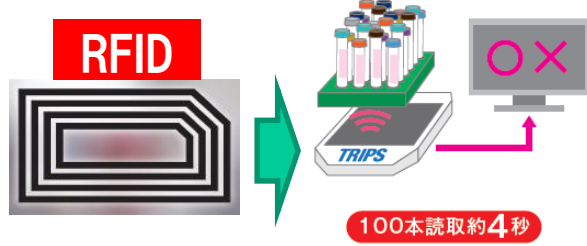
4
つ
の
新
機
能



IoTサポート
⇒ 自動起動機能 等



自動復旧
⇒ 発行動作の停止を回避



RFID連携強化
⇒ 検体トレーサビリティの強化

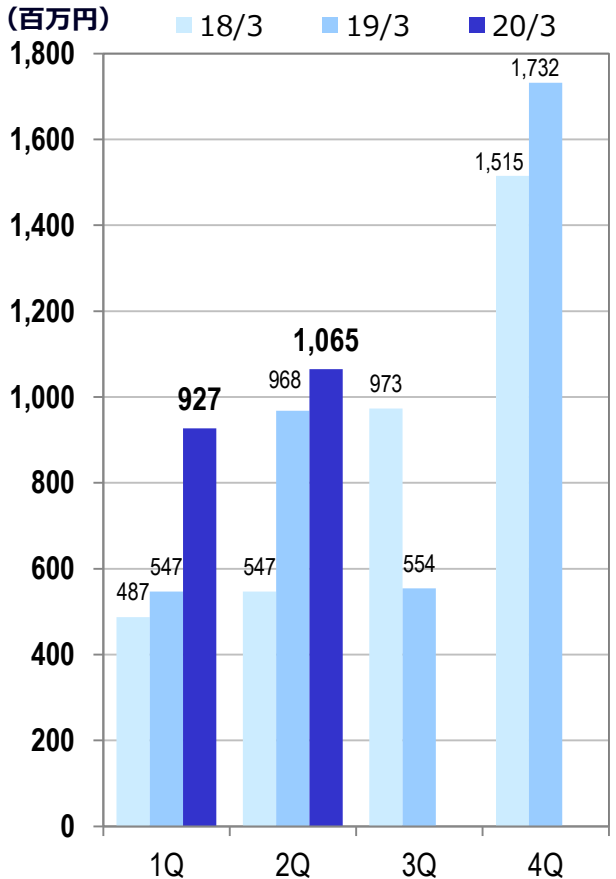


自動学習
⇒ メンテナンス時期のアラート 等

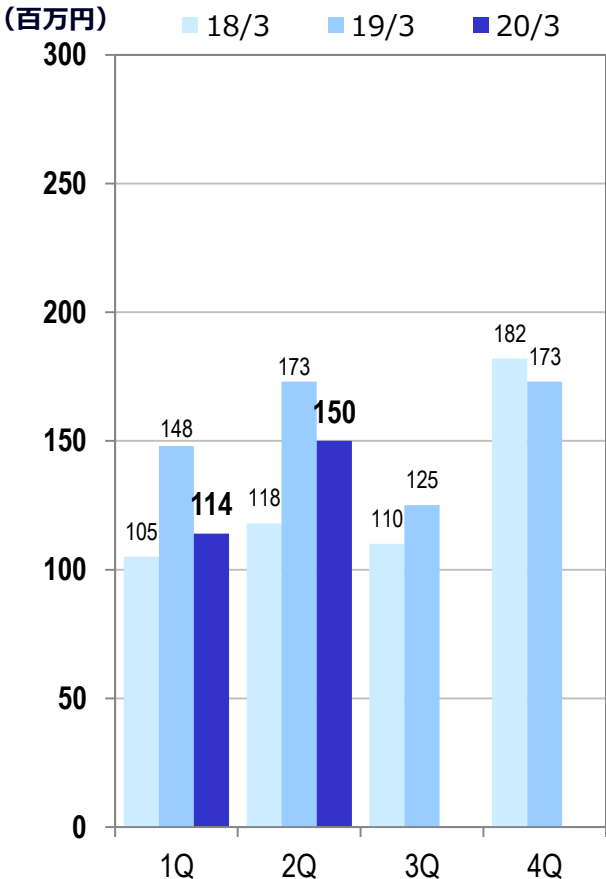


● 品目別売上高（四半期別）

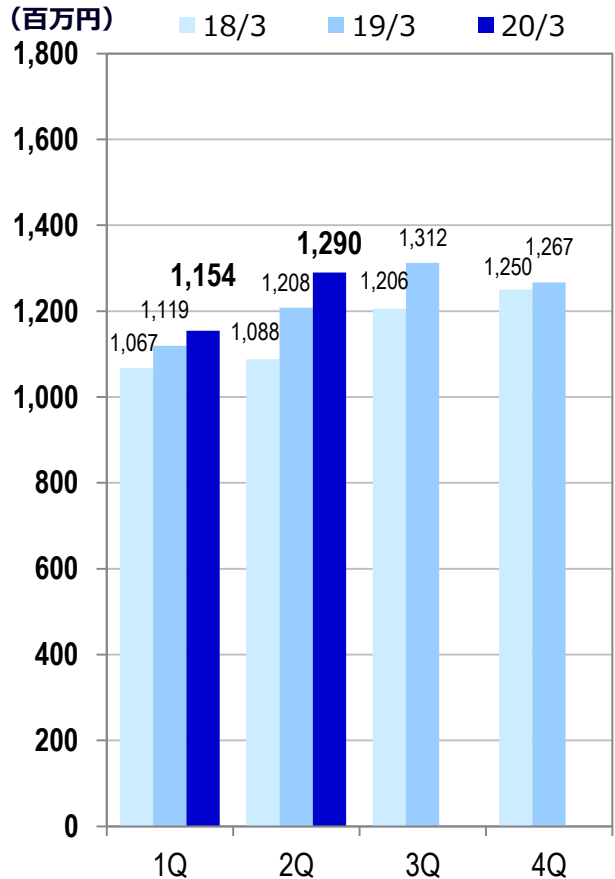
採血管準備装置



検体検査装置



消耗品等



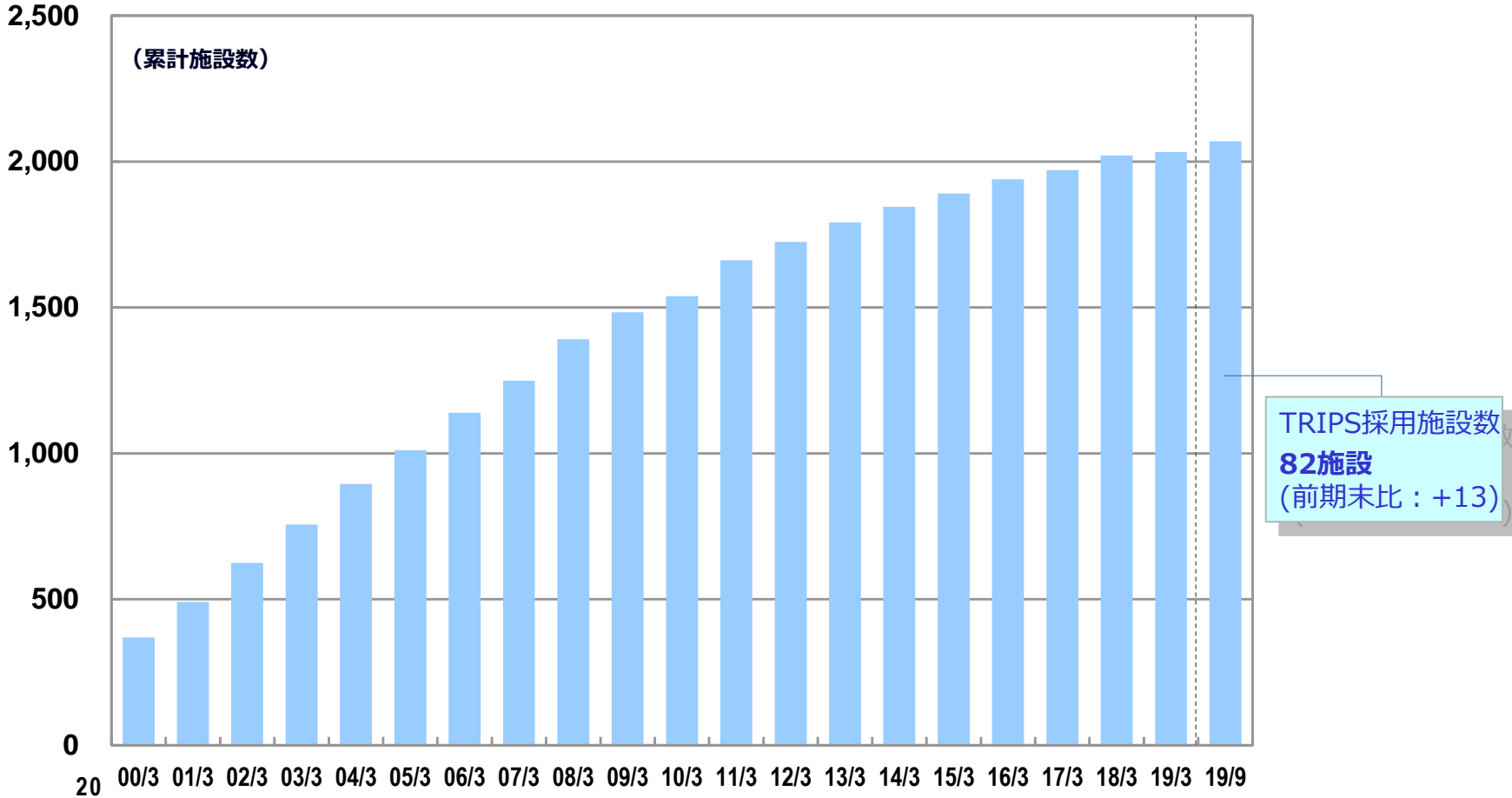
採血管準備装置、消耗品等は順調な伸び

● 採血管準備装置 – BC・ROBO納入施設数

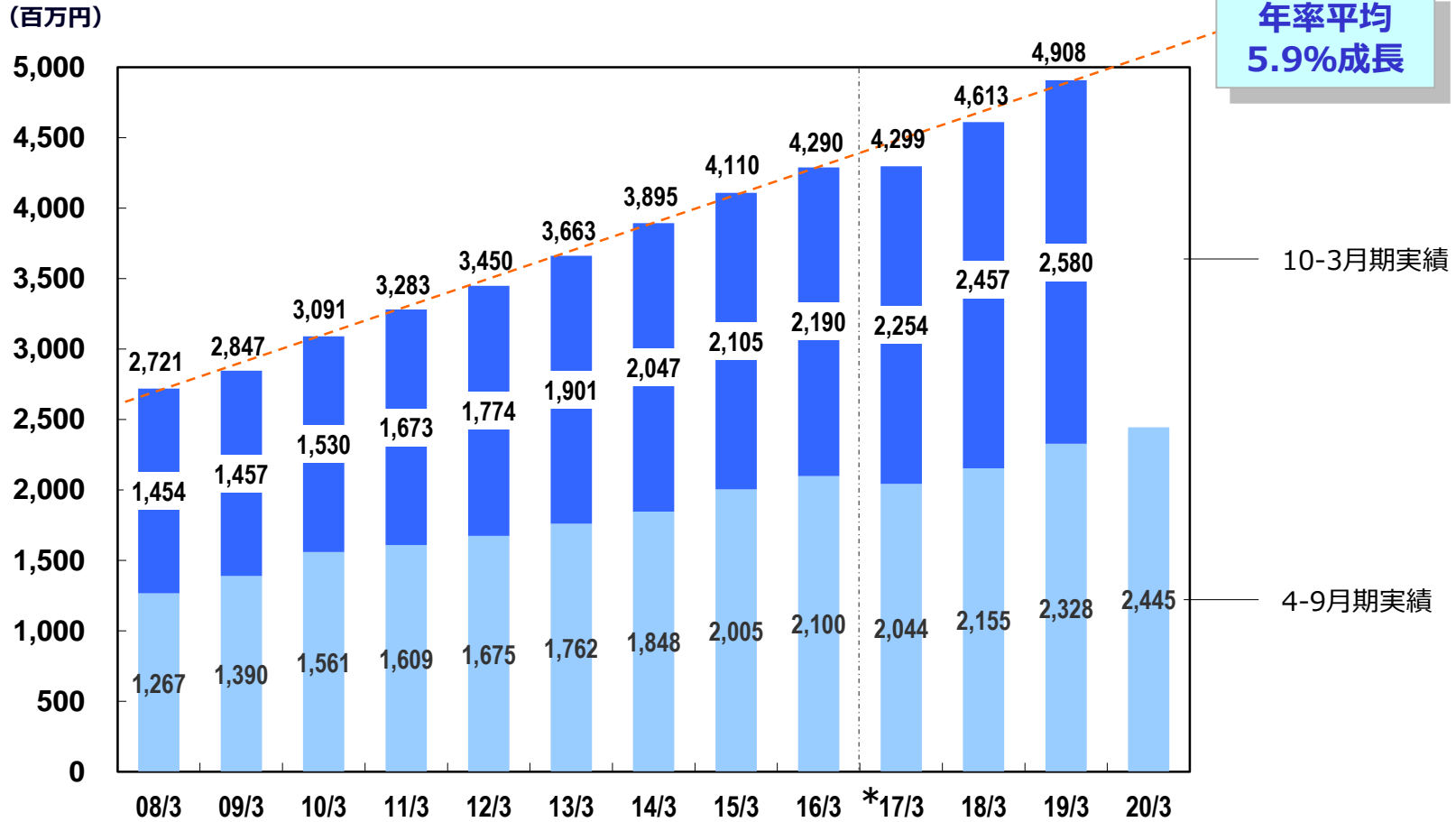
	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2019/3期	2020/3期	
				2Q累計	2Q累計	前期差
納入施設数	275	298	313	161	192	+31
国内	177	209	163	75	134	+59
うち新規	32	50	34	12	37	+25
うち更新	145	159	129	63	97	+34
輸出	98	89	150	86	58	-28

- ・国内：新規導入は37施設
更新需要は継続、国内は大型案件受注
- ・輸出：中国市場減速からアジア向け販売が大幅減

● 採血管準備装置 – 国内納入施設の推移



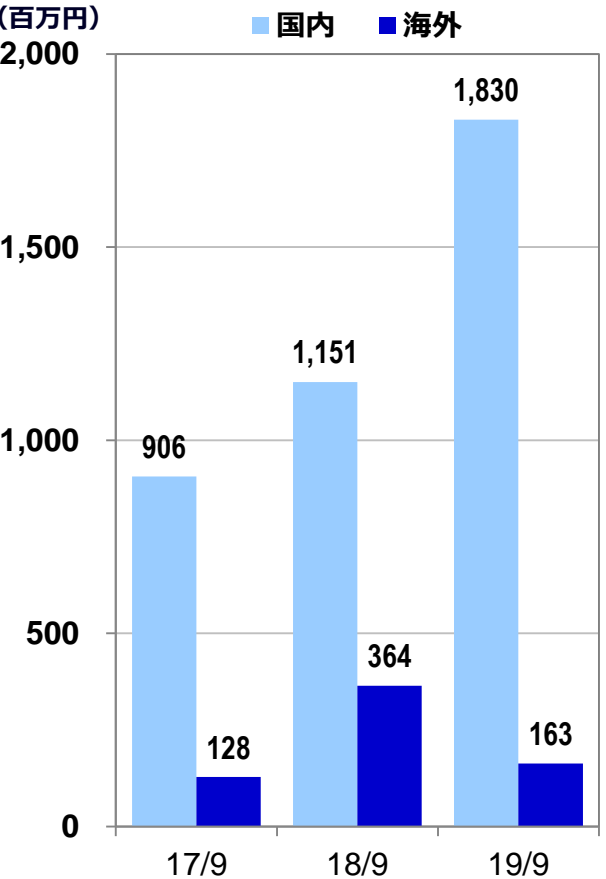
● 消耗品等（含む保守料）の売上高推移



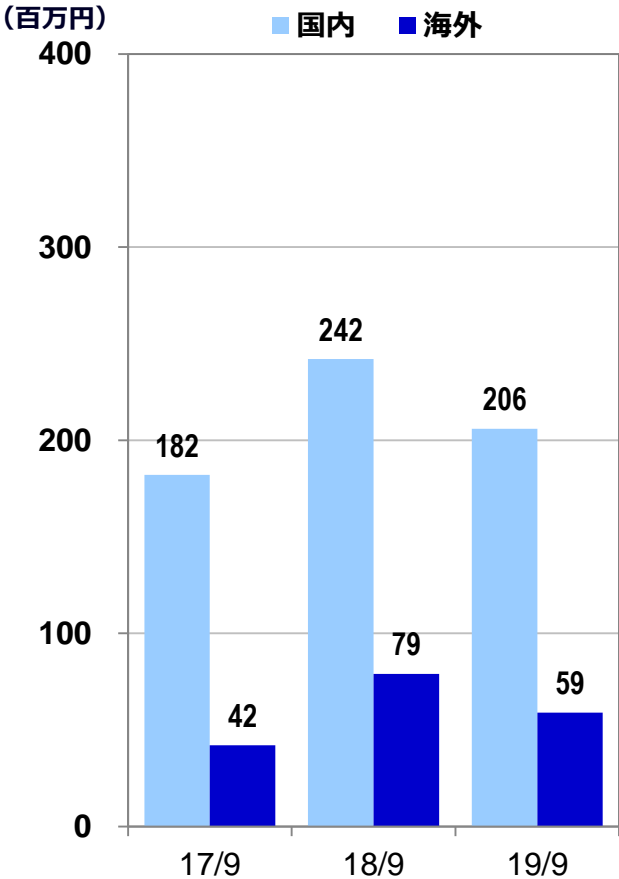
* 17/3期より保守料の計上方法を変更

● 品目別売上高（国内・海外別）：国内堅調、海外一服

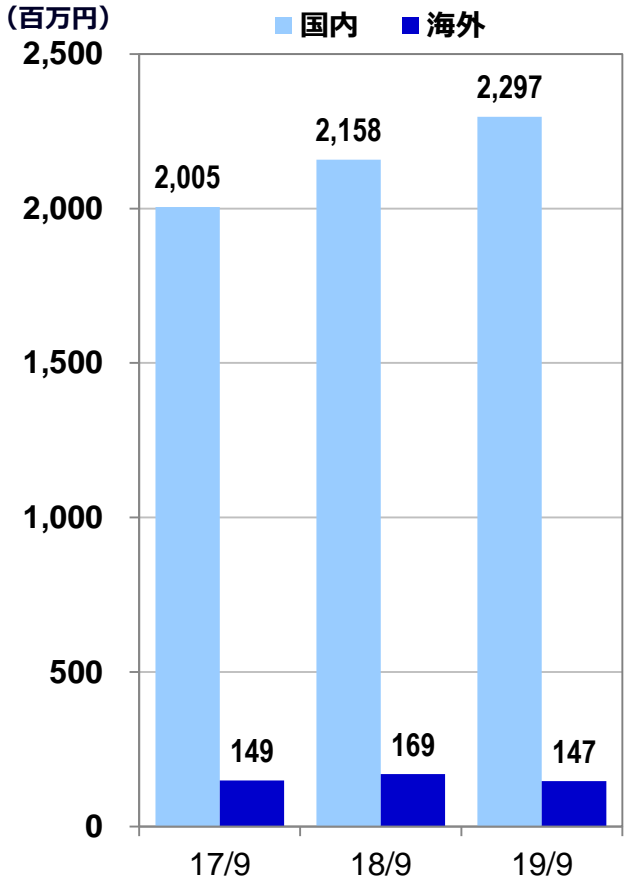
採血管準備装置



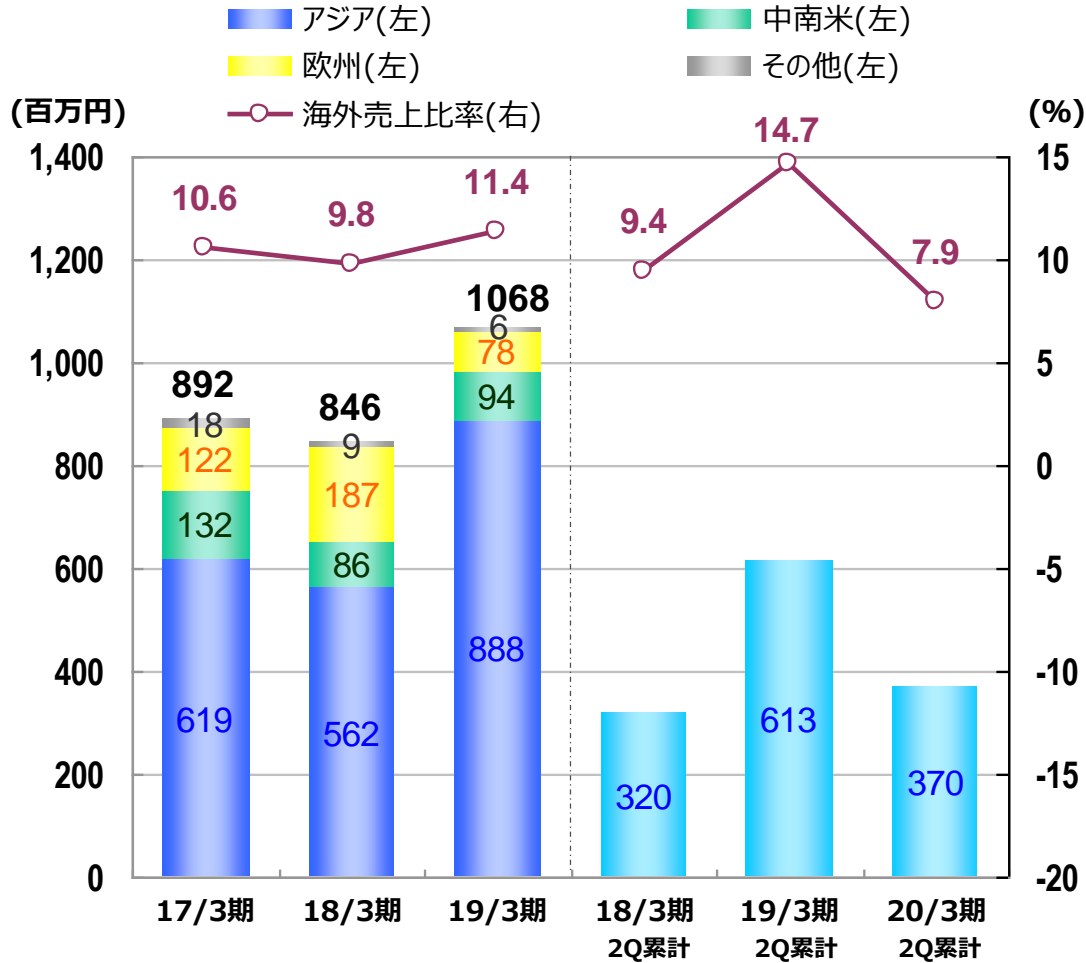
検体検査装置



消耗品等



● 海外売上高



[2020/3期 2Q累計]

- 採血管準備装置
… 中国市場は案件が集中した
前年同期からの反動減
- 検体検査装置
… 海外認証の遅れ
- 消耗品等
… 下期への期ズレ案件あり

● 要約損益計算書

(単位：百万円)

	2019/3期 2Q累計		2020/3期 2Q累計		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	4,166	100.0%	4,704	100.0%	+12.9%
売上原価	2,200	52.8%	2,582	54.9%	+17.3%
売上総利益	1,965	47.2%	2,122	45.1%	+8.0%
販売管理費	1,307	31.4%	1,516	32.2%	+16.0%
営業利益	658	15.8%	605	12.9%	△7.9%
営業外損益	2	—	2	—	—
経常利益	660	15.9%	607	12.9%	△8.0%
特別損益	14	—	69	—	—
法人税、調整額等	199	—	183	—	—
四半期純利益	475	11.4%	493	10.5%	+3.8%

【営業減益】 販売管理費が前年同期比で16%増加（採血管準備装置にかかる研究開発費の増加、サービス体制強化による人件費の増加等）し、売上高の伸びで吸収しきれず

● 要約貸借対照表【資産の部】

(単位：百万円)

	2019/3期末		2020/3期 2Q末		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額
流動資産	14,386	89.1%	13,861	87.7%	△525
現預金	9,518		9,567		+48
売上債権	3,219		2,709		△510
棚卸資産	1,595		1,538		△57
その他流動資産	54		47		△7
固定資産	1,768	10.9%	1,938	12.3%	+169
有形固定資産	1,267		1,451		+183
無形固定資産	35		33		△2
投資等	465		453		△11
資産合計	16,155	100.0%	15,799	100.0%	△355

【売上債権】回収が順調に進んだ

● 要約貸借対照表【負債・純資産の部】

(単位：百万円)

	2019/3期末		2020/3期 2Q末		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額
流動負債	2,143	13.3%	1,972	12.5%	△171
買入債務	1,111		1,015		△96
短期有利子負債	—		—		—
その他流動負債	1,031		957		△74
固定負債	269	1.7%	184	1.2%	△85
長期借入金	—		—		—
その他固定負債	269		184		△85
負債合計	2,413	14.9%	2,157	13.7%	△256
純資産合計	13,741	85.1%	13,642	86.3%	△99
負債・純資産合計	16,155	100.0%	15,799	100.0%	△355

● 要約キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2019/3期 2Q累計	2020/3期 2Q累計	
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	505	877	+372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77	△296	△219
財務活動によるキャッシュ・フロー	△385	△602	△216
現金・現金同等物の増加額	41	△21	△63
現金・現金同等物の期首残高	7,129	7,200	+71
現金・現金同等物の期末残高	7,171	7,178	+7
研究開発費	227	258	+31
設備投資実施額	13	222	+209
減価償却実施額	32	43	+11

フリーキャッシュフローはプラスで安定的に推移、基盤整備、研究開発投資に活用を検討



Techno Medica

トピックス

● 新製品

➤ **高速処理の小型一体型 採血管準備装置 新発売**

BC・ROBO 7 **RFID** Smart & Compact



<主な特徴>

- ★連続発行時 2.5秒/本の高速処理
- ★幅21cm(A4用紙幅と同様)のコンパクトサイズ
- ★プリラベル探知機能、RFIDの拡張性(オプション)等上位機種なみの機能を用意

<ターゲット開拓市場>

- ・海外施設
- ・クリニック、検診センター、透析施設
- ・病院（救急外来、化学療法・・・）
- ・検査センター 他

● 支店新設

▶ 本年7月に台湾支店を開設

⇒2020年3月期売上高、3億円を目指す



開所式の様子



● 物流倉庫開設

▶ 本年8月に横浜港北の物流倉庫開設

- ★ 売上増に伴う倉庫スペースの拡大
- ★ 採血管準備装置の出荷場集約





2020年3月期 業績見通し

● 2020年3月期 業績見通し

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期 (予)		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	9,332	100.0%	10,000	100.0%	+7.2%
営業利益	1,517	16.3%	1,400	14.0%	△7.8%
経常利益	1,535	16.5%	1,400	14.0%	△8.8%
当期純利益	1,098	11.8%	1,000	10.0%	△8.9%
1株当たり純利益(円)	128.1	—	116.7	—	—
1株当たり配当金(円)	47.0	—	47.0	—	—
研究開発費	559	6.0%	800	8.0%	+43.1%

採血管準備装置の売上伸長継続を見込む一方で、人件費（人員増による営業サービス強化）や研究開発費の増加を見込む

● 2020年3月期 品目別売上高見通し

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期 (予)		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	9,332	100.0%	10,000	100.0%	+7.2%
採血管準備装置	3,803	40.8%	4,460	44.6%	+17.3%
検体検査装置	620	6.6%	570	5.7%	△8.1%
消耗品等	4,908	52.6%	4,970	49.7%	+1.3%

● 営業戦略（国内） ～販売強化～

➤ RFID

- ◆ BC・ROBO-8001 RFID（採血管準備装置）
- ◆ BC・ROBO-7 RFID
- ◆ UA・ROBO-2000 RFID（全自動尿分取装置）
- ◆ u-TRIPS(RFID尿検体管理システム)



BC・ROBO-8001RFID

➤ 新規販路開拓、販売機会の拡大

＜採血管準備装置＞

- ◆ BC・ROBO-7 … 健診施設、クリニック等

＜検体検査装置＞

- ◆ GASTAT-700モデル … 全方位で販売強化

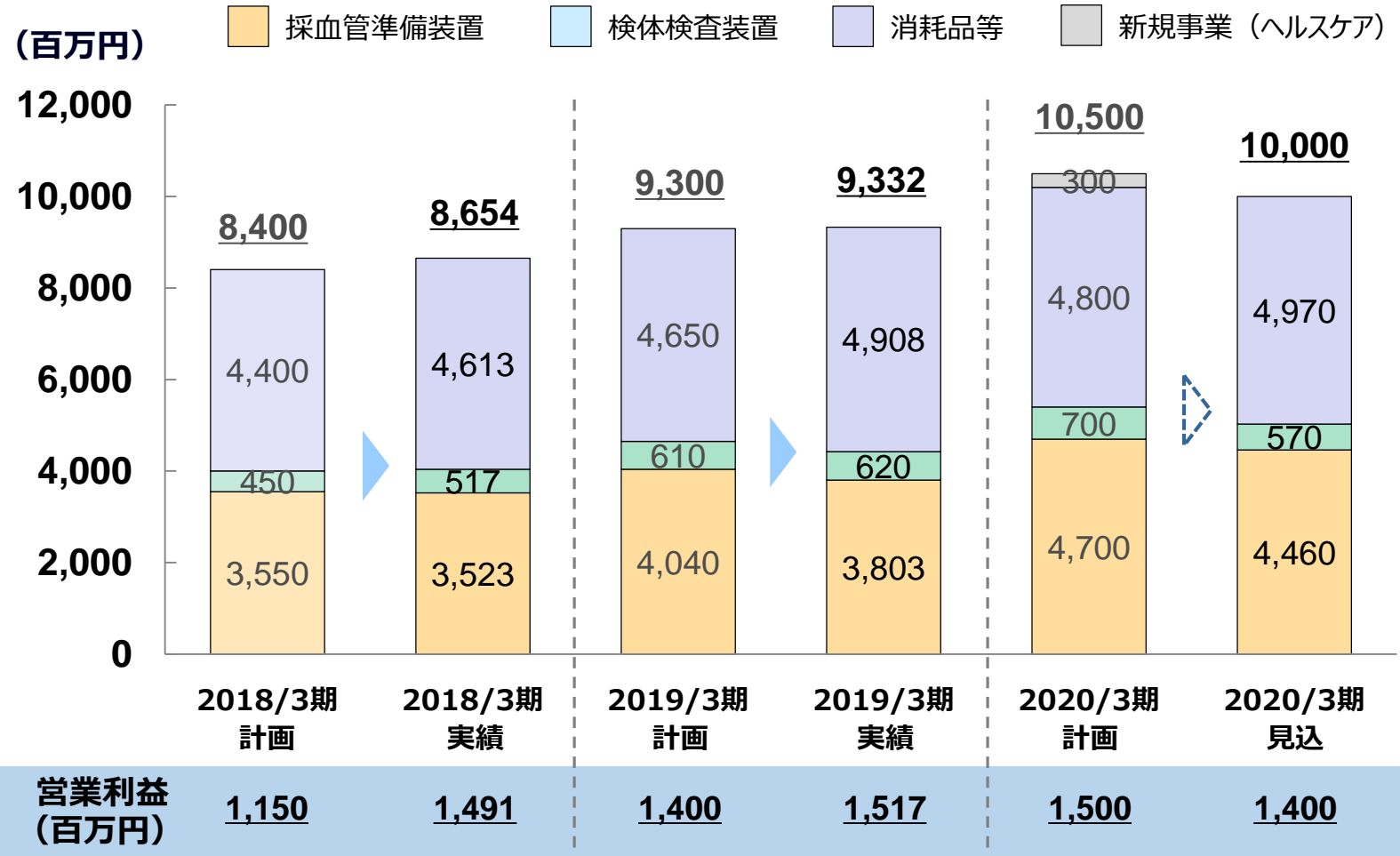
UA・ROBO-2000RFID





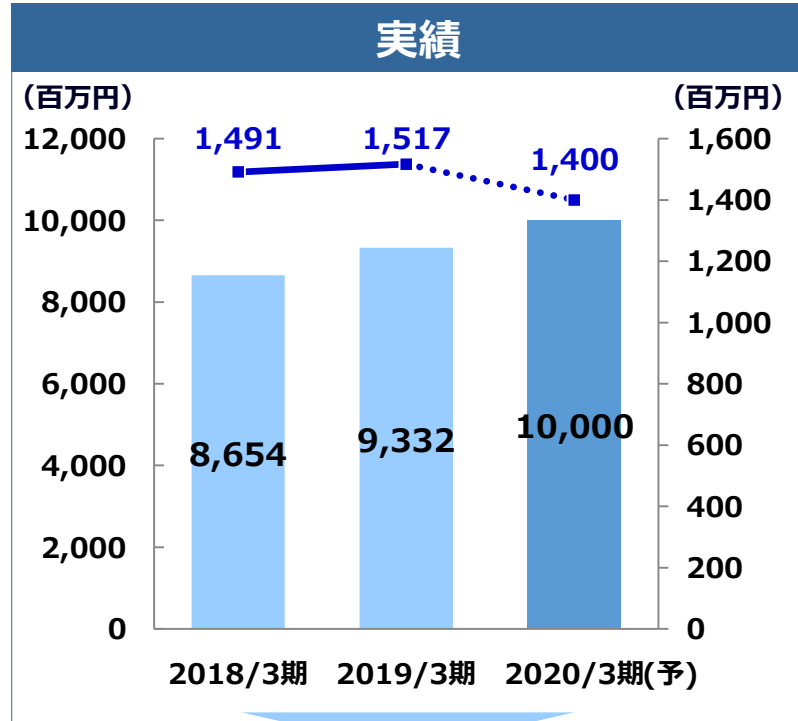
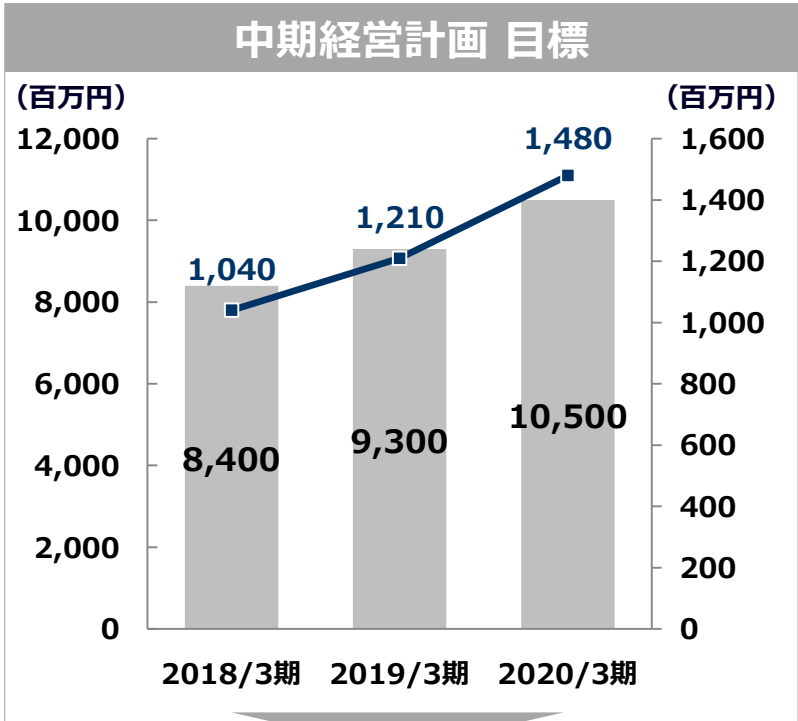
2017中期経営計画総括

2017・3か年中期経営計画 予実対比



2017・3か年中期経営計画 総括

■ / ■ 売上高 (左) -■- / -■- 営業利益 (右)



【3か年累計】
 売上高：282億円 / 営業利益：37.3億円

【3か年累計(見込み)】
 売上高：280億円 / 営業利益：44億円

※ 3年間累計では、売上高は若干未達となるも、営業利益は大幅過達を実現できる見通し

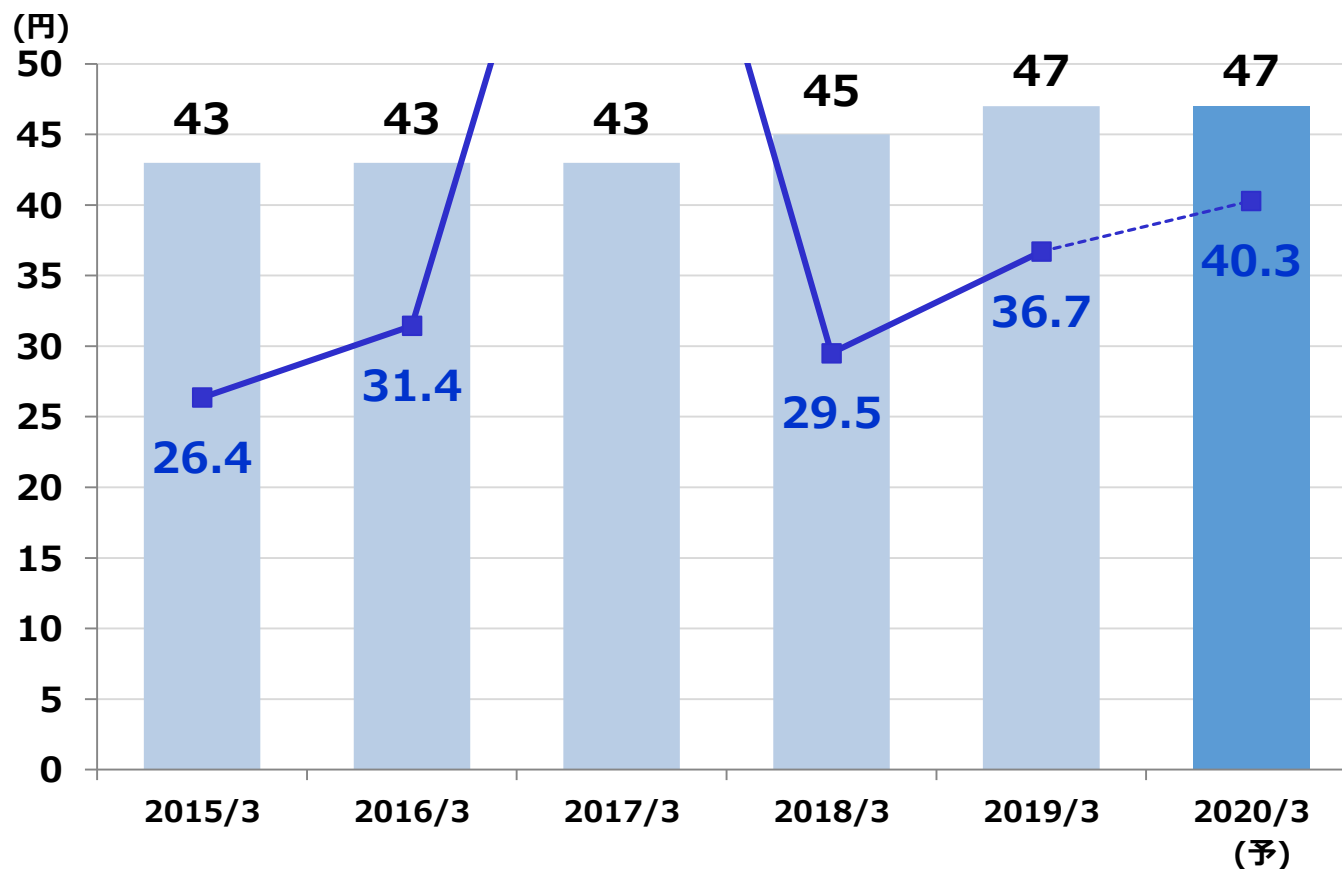
現在、2020年度中期経営計画を策定中

【オンリーワン製品を武器とした新市場・新規顧客開拓の方向性】



【配当性向の目標】

30%～40%を当面の目安として目指す



<注意事項>

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。